

2011年4月19日

お客様各位

日機装株式会社
メディカル事業本部

停電時の腹膜透析液の加温について

平成23年3月11日に発生しました「東北地方太平洋沖地震」により被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。停電時のステイセーフ加温器の取り扱い、ならびにステイセーフバランス腹膜透析液の加温につきまして、下記の通りご連絡いたします。

記

添付文書（【使用上の注意】7.適用上の注意）にも記載してありますように、下痢、腹痛、悪寒等の予防のため、本剤をあらかじめ体温程度に温めてから注入するように再確認をお願いいたします。

停電時のステイセーフ加温器使用について

本製品は、バッテリーバックアップ機能はありませんので停電時は加温されません。停電が予想される場合は、バッグ交換時間についてかかりつけの医療機関にご相談ください。以下に停電時に電源が確保できる場合と、できない場合の加温方法を記載いたしましたので、ご参照ください。

1. 電源が確保できる場合の加温について

発電機などによって安定した電源が得られるような環境にあれば、その電力を利用して通常通りステイセーフ加温器のご使用が可能です。加温時間の目安は、液温10℃ 2L×3バッグ入の場合4.5時間で36℃、液温25℃ 2L×3バッグ入の場合3.0時間で36℃です。加温される時間を考慮の上、ご準備いただきますようお願いいたします。

また、カギが付いた加温器（ ）では、車のシガーソケットから電源を確保してご使用いただくことが可能です。その場合は、DC/ACインバーター（電気容量60W以上）をご用意ください。

写真をご参考ください。該当製造番号：000851～
2008年5月以降に出荷した製品です。



2. 電源が確保できない場合の加温について（加温器を使用しない方法）

< お湯を用いる場合 >

外袋を開封しない状態で、バッグ全体をビニール袋に入れて密封し、40 前後(ぬるま湯状態)のお湯などで温めていただき、その後お湯から取り出し、タオル等でよく拭いてから外袋を開封し、透析液をご使用願います。

< 使い捨てカイロを用いる場合 >

使い捨てカイロを用いる場合は、保温シートを用いて加温していただくことが可能です。保温シートの内側にポケットがありますので、その中にカイロを入れてご使用ください。ただし、カイロ表面は60 以上の高温になる可能性がありますので、ご注意ください。

目安として、2L バッグにカイロ 8 個を使用し、約 5 時間で体温程度に温まります(気温 23 、液温 18 で加温開始した実測値に基づく)。

< その他の方法 >

お湯も使い捨てカイロも確保できない状況であれば、透析液バッグを抱き、体温で温めて使用する方法もあります。

上記 2.電源が確保できない場合の加温について(加温器を使用しない方法)の対応は、停電時でのやむを得ない場合の応急処置であることをご理解願います。また、同様な趣旨のことが、東京都区部災害時透析医療ネットワーク作成、「透析患者災害対策マニュアル」に記載されていますので、併せてご参照下さい。

http://tokyo-hd.jp/images/saigai_2010.pdf

ご不明点がございましたら、お手数ですが、弊社営業担当までお問合せくださいますようお願い申し上げます。

以 上